

建設工事請負契約書

1. 案件番号 _____
2. 履行名称 _____
3. 履行場所 _____
4. 履行期間 平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで
5. 請負代金額 金 _____ 円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額) 金 _____ 円
6. 契約保証金 _____

7. 解体工事に要する費用等 別紙のとおり

(注1) 建設工事が建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)第9条第1項に規定する対象建設工事の場合にあっては、(1)分別解体等の方法、(2)解体工事に要する費用、(3)再資源化等をする施設の名称及び所在地、(4)再資源化に要する費用についてそれぞれ記入する。

8. 住宅建設瑕疵担保責任保険 別紙のとおり

(注2) 特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律(平成19年法律第66号)第2条第4項に規定する特定住宅瑕疵担保責任を履行するため、特定住宅瑕疵担保責任保険に加入する場合は、(1)保険法人の名称、(2)保険金額、(3)保険期間についてそれぞれ記入する。なお、特定住宅瑕疵担保保証金の供託を行う場合は、受注者は、供託所の所在地及び名称、共同請負の場合の建設瑕疵担保割合を記載した書面を発注者に交付し、説明しなければならない。

上記の工事について、発注者と受注者とは、各々対等な立場における合意に基づいて、別添の条項によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

本契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自1通を保有する。

平成 年 月 日

発注者 住所 _____
氏名 _____ 印

受注者 住所 _____
氏名 _____ 印

(注3) 請負人が共同企業体を結成している場合においては、請負人の住所及び氏名の欄には、共同企業体の名称並びに共同企業体の代表者及びその他の構成員の住所及び氏名を記入する。